真夏の夜のキャンドルコンサート＠天現寺

～都会の喧噪の中に現れる、癒しの空間「天現寺」。
時を忘れ、体中に染みわたる Yae の歌声と優しいキャンドルの灯りに包まれて過ごす夜。～

ヴォーカル：Yae

ギター：越田 太郎丸

パーカッション：渡辺 亮

琴：稲葉 美和

2012年8月18日（土） 開場 18:00 / 開演 19:00

会場 東京 南麻布・天現寺 本堂 東京都港区南麻布 4-2-35

入場料 前売り 4,000円 当日 4,500円

チケット申込 >>>

▶Tel: 03-6273-8437/FAX:03-6273-8438
▶メール：miki.uenj@abeam.ocn.ne.jp
▶Yae HP：www.yaenet.com からネット購入できます。

お問い合わせ >>> Yae Project Tel: 03-6273-8437

■主催：Yae Project ■ 協力：多聞山 天現寺

※このコンサートの収益の一部は、福島の子どもたちの為の「読みきかせと音楽」イベントに使わせていただきます。

キャンドルアーティスト
Candle JUNE

★『夏のちいさな屋台』も登場します。

真夏の夜のキャンドルコンサート＠天現寺

2012年8月18日（土）

開場 18:00 / 開演 19:00

■主催：Yae Project ■協力：多聞山 天現寺

Yae

東京生まれ、故藤本敏夫・歌手加藤登紀子の次女。
2001年に歌手としてデビュー。これまでに6枚のアルバムCD、6枚のシングルCDをリリース。その存在感あふれる「声」で各地にファンの和を広げ、数々のCMソングの歌唱・作詞作曲も手がけたり、NHKみんなのうたや人気ゲームソフトの主題歌を唄うなど活躍。
そしてウォルト・ディズニー生誕110年記念作品 ディズニー映画「くまのプーさん」のテーマ曲、挿入曲を歌唱。また、日本ユニセフ協会の東北大震災応援メッセージCM「ハッピーバースデイ3.11」のCMソングも担当。（昨年9月から放送中）
海外ではキューバの音楽祭、サンフランシスコでの世界平和音楽賞などに参加。
現在は2児の母となり、家族と共に自然豊かな里山「鴨川自然王国」で、農を取り入れたスローライフを送り、ラジオのパーソナリティー（ラジオ関西）や、テレビ出演等も務めながらライブ中心に活躍中。
2007年から土に生きることの幸せを伝える為「種まきライブツアー」を全国で展開中。オフィシャルサイト http://www.yaenet.com

越田 太郎丸　アコースティックギター・エレキギターなど。アレンジ・プロデュース・作曲・MC

9歳からギターを始める。大学時代より各種イベントに出演。ボサノバユニット『Prismatica』のギタリストとしてCDデビューし、ベスト盤を含む6枚のアルバムをリリース。トニーニョ・オルタ、ジョアン・ボスコ、アントニオ・カルロス・ジョビンなどから、作曲、編曲、奏法の影響を受けブラジル音楽を軸に演奏活動を展開。『Prismatica』のほか『Bossa do Mago』『森』などのバンドに参加し、作曲・編曲も手掛ける。銀座スイング、六本木スイートベイジルなどでライブ活動を行っている。これまでに、岩崎宏美、葉加瀬太郎、瀬木貴将、ウェイウェイウー、Yae、辛島美登里、中孝介など 様々なアーティストのコンサート、ライブ、レコーディングに参加。客船「飛鳥」でのソロ演奏をきっかけに、都内ライブハウスでもソロ演奏を展開。朗読とギターソロのコラボレーションなども行う。

渡辺　亮　パーカッショニスト

1958年生まれ。武蔵野美術大学卒業。EPO、鈴木重子、スーザン・オズボーン、アガルタ、ボサ・ド・マーゴなど数多くのアーティストとのコラボレーション、レコーディングに参加。サウンド・デザインとして汐留「日テレ大時計」、NHK・TV番組の効果音なども担当。また、いわき芸術文化交流館アリオス、佐渡「鼓童」アースセレブレーション、横浜教育センター、地球市民かながわプラザ、浜松こども館など、各地でパーカッションのワークショップを行っている。青山「こどもの城」講師、東京学芸大学非常勤講師。ソロ・アルバムとして「ウォレス・ライン」「モルフォ」著書に「レッツ・プレイ・サンバ」（音楽之友社）がある。自己の活動として「妖怪探訪」と「南方幻想」を主催。

稲葉 美和　箏奏者

4歳より生田流箏曲を学ぶ。
CD「遠くの雨」「あおのむこう」（コントラバスとのデュオ）、「桜の咲くころに」（箏ソロ）をリリース。
オリジナル曲を中心としたコンサート活動をする他、和楽器のユニット「びかむ」では多くの作曲・編曲を手がける。
国内外でのコンサートの他、NHKTV「アジア・知られざる大自然」、NHKスペシャル「大地の子を育てて」（2005年日本賞グランプリ受賞番組）を始めとするTV、ラジオ番組等の音楽制作参加や出演、小椋佳コンサートツアーに参加するなど、個性的で心地よい音づくりを追求している。

キャンドルアーティスト

Candle JUNE

2001年広島で「平和の火」を灯してから「Candle Odyssey」と称する悲しみの生まれた場所を灯す旅を始める。
アメリカ横断、N.Yグラウンドゼロを灯した後アフガニスタンへ…広島、長崎、沖縄と戦争の悲しみからはじまった旅は終戦記念日の中国へと続く。そして、その火は新潟中越地震震央地に向かい、現在も震災のあった日にイベントを開催。これまでの旅で得たすべてをもって3/11東北大地震に“ラブフォーニッポン”として向かっている。1994年にキャンドルの制作を恥じ始める。
ギャラリーやサロンなどでエキシビジョンを開催。LOUIS VUITTON・PRADAなどのレセプションパーティのデコレーションや様々なファッションショー、Fuji Rock Festivalをはじめとする野外フェス、またBen Harper、Neil Young、M.M.Wなどのライブステージに空間演出で参加。
2009年にはこれまでのCandle Odysseyの集大成となる「Candle Odyssey - the book -」が出版された。